京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年 紀元二千五百七十年

定價（一ヶ月金[illegible]）

月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）

廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行金[illegible] ▲特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人 高木久馬太

印刷人 松久神一郎

京城西署西小門通（電話六六三）

發行所 京城新報社

内外瑣聞（記者）

[illegible]同社の所有地所在[illegible]あるもの二十名[illegible]中であることは[illegible]状況を見學せ[illegible]した通りである、[illegible]では無いかも知れ[illegible]る、隨て會社が此[illegible]する効果は同社の[illegible]で緊要なるべき關[illegible]や二十名の一團[illegible]箇月間の見學を爲[illegible]用は、資本金一千[illegible]とは云ふ迄も無[illegible]要必ずしも重大[illegible]微なる點よりし[illegible]ざる事を會社に[illegible]報に依れば之れ[illegible]於て爲しつゝあり[illegible]を拂ふべきは此點[illegible]も固より十分の注[illegible]信ずる、とは云へ[illegible]である、已れに觀[illegible]

めて日本人を避ける、遂に日本人は彼等排日思想を懷けりと速斷して了ふ、隨て有爲の人物を逸して悔ゐざる例は正に尠といふ程ある、因て想ふに會社出張所にも全然此の弊が無いとは云へまい、否な甚だしからざる迄も又自覺せざる迄も必ず此の弊ありと云ひたい此處だ、此處に深き注意を致さずんば篩に見る同社の好計畫も勞して効無きに終るであらうと云ふのだ、吾輩は又此の機會を利用して地方に深き關係を有する同社に對し平素同樣の注意を怠るなからんことを希望して置く。

文藝 伊曾保物語（一）

エソポが生涯の物語 略。

之をヤキシモ、プラヌーデといふ人希臘の言葉より羅典に翻譯せられしものなり

エウローパの内ヲリヂヤといふ國のトロヤといふ城の近邊にアモニヤといふ里がれちやる。其里に名をばエソポといふて異形不思議な人體がれちやつたが其時代エウローパの天下に此人に勝つて醜い者もれりなかつたと聞れた先づ首は尖り眼は窄う而も出て睥の先は平かに兩の頰は垂れ頸は歪み丈は低[illegible]れ顏は膨れ垂出て[illegible]、此等の相を以て[illegible]であつた如く智慧の[illegible]並ぶことはれりなか[illegible]上を厭はるゝ樣は[illegible]の取扱ひなどは如[illegible]見ゆればせめて[illegible]も宛がはうず」と[illegible]へ與へて田畠へ還ら[illegible]し彼の主人實田ばく[illegible]愉快氣に其所作を爲[illegible]れば或百姓上々の[illegible]主人に捧ぐれば色香[illegible]にあつたに由て喜び[illegible]今賞翫せうずれども[illegible]呂上りの爲に蓄へ置[illegible]使はるゝ二人の小姓[illegible]は風呂に入られた。[illegible]より譯り來れば彼柿[illegible]ふ樣は『よい柿ぢや[illegible]て取食うて其咎めの[illegible]を換へてエソポにこれを言ひ負せて此方は空嘯ふいて居てあれこそ其熟柿をば食べたれとはねかけうずるに何の仔細があらうぞ」と談合して取つて食した（續）

倫敦の金融引返

政府の豫算が決定せざる結果として金融急に引締り英蘭銀行をして其日步一朱引上を斷行せしむるに至りし倫敦の金融市場も來月五日以後に於ては再び引緩まんとするの形勢あり其理由は來月[illegible]日には過般發行せられたる二千百萬磅の國庫證券全部拂込まるゝ筈なりと[illegible]も同時に當日は南阿戰爭當時發行せられたる軍事公債の一部償還せらるゝを以て市場は茲に新たに資金の供給を得るが爲めなりと

綿類騰貴の兆候

昨年綿の主產地米國に在りて不作の結果は各國の綿價に騰貴を來し本邦に於ても今や各種の綿物綿類は數割の高値となりたり當秋に至らば其餘波は當韓國にまで波及し貿易上にも影響するなるべく隨て一般需要者に在りても綿類は高價を要するなるべしと云ふ

●太田近況

▲公州鐵路 大田對岸木尺洞内江景街道より分岐し四國[illegible]の道路を一直線に鉢岩に至り近々完成の豫定なり之れが爲め大田川以西は地價の騰貴を告ぐるに至れり▲黑鉛有望 忠南黑鉛は元來品質良好の聞ゑありしか今回某技師の特に調査せる結果は[illegible]産に劣らざる良質なりとの斷定にて人氣引立ち居れり▲興業會社の養蠶 韓國興業株式會社大田出張所は柳等面に在りて既に許多の桑園を有し本年は蠶室を新築し大飼育の計畫なり▲養蠶傳習所 内田史一氏設立の大田養蠶傳習所は目下傳習生募集中なるが申込者非常に多し▲在鄕軍人會 去る三日大祭日を以て大田在鄕軍人會を組織に決せり▲物價 白米一石十二圓韓白米九圓十錢玄米七圓二十錢大豆六圓四十錢粉一石三圓にて石油米利堅粉金巾綿[illegible]酒醬油類は他地方と大差なし

日本銘刀傳

第八十三席 法城寺正弘（五） 邑井一講演

『恥辱にならぬやうにしてやらう』とヌッと入り來りし人こそあれ、兩人はハッと驚きました折から唐紙押開き が、れとくは殊更消ゐも入りたき心持ち、何もれとくは自身が好んで幾三郎と通じたといふわけではないので、唯クヨ〳〵思つて病氣になるまでも押隱して居るとは、誠に婦女ほど詰らぬものはない、さて唐紙を押開けて入り來りたるものは誰なるかと見ますると、敢て親類といふではありませんが、身内もくの偉人とでもいひませうか、近及ばぬ親切者で、始終上總屋の世話萬端をしてくれまする翁屋の次郎兵衛といふ人で、れ屋敷へ出入りして、乾分の二百人もあらうといふ親分、まづ町内の顏役であります、翁屋の次郎兵衛は其處へドッかと坐り 次『れとくさオイ幾さん、店へ何處から注文が來たやうだ、れ客樣だ、手代ばかりで分るめへから、早く往つてやんなさい』とれとくと差向ひにて種々されとくを慰りつゝ委曲其の事情を聽取りましたが、さて此の幾三郎の身の上をまだ御話しませんでしたが、此の男も因緣のあるものです、まだ吉原が元地の葭町にある時代には、大見世の部に數へられた玉屋といふ妓樓があつたのでございます、餘事に渉るやうでありますが、一寸言つて置きますのは、三浦屋四郎左衛門の家が吉原では第一古いので、其の次は此の玉屋ださうでございます、一時は隆盛の時代もあつたが幾二郎の爺の代になつて、不幸が續いて流石の番家の店がスッかりさびれて所詮店が張切れないといふのを、隣家で藥種問屋をして居る山田屋山三郎といふ人が氣の毒だといつて、金を貸してくれたが、俗にいふ燒石に水といふやうで、僅かの金では仲々足りません、段々と鰻登りに山田屋へ借金が出來たので、到頭山田屋さんが玉屋を引取ることになりました、此の玉屋を引取るとに就いては種々長い御話もあるのですが、略して申上げません、そこで番頭代りに、玉屋の長男で、幾三郎の父に當る人をば、其の儘店へ座らして、山三郎は迷惑ながら女郎屋を開業することとなりました、夫れですから、今日でも油の端の守田寶丹方で賣つて居ります奇功紙には山田屋山三郎の名が出て居ります、之れで元玉屋山三郎は藥種屋であつたことが分ります、其の店で幾三郎の親父は玉屋の通番頭で死んで了ひました、伜の幾三郎は段々と成長しましたが、恰當明曆三年吉原が淺草へ替地になり、今の新吉原が出來るやうなことになりましたが、幾三郎は商人になりたいといふので、此の玉屋山三郎が自分の地面内で、京橋の五郎兵衛町に住んで居る小間物屋の上總屋長右衛門へ賴んで、山三郎が親元となり請人なりといふので、奉公に往つたといふ譯なのです、母一人子一人であるうちに、母が病に罹つて死にましたから、木から落ちた猿同樣で、恰當十三才から廿二才まで此の上總屋で勤め續きをして居たので、一度も失策がないのです、所が昔の聖人の數草にもあります如く、人若き時は之れを戒しむる色にありとかいふ一件から、[illegible]其の身に逢遭せて來て、過つて主人の女房れとくに思を掛けて、道ならぬことになつたのであります、さて又れとくは幾三郎のために身を汚され、哀れや因果を身に宿して、夫れが心配にてクヨ〳〵するのですから病氣になつた事は前に詳しく述べた通りであります所で近所の手前もあるので、れとくは懇意の人が種々と湯治にでも往つたら宜からうと親切にいつてくれるものですから、其の氣になりまして下野の鹽原へ湯治に往きました。

東京電報

▲祭祀料の御下賜

天皇陛下より岩倉公へ五千圓皇后陛下より同じく三千圓の祭祀料を御下賜相成りたり（四日）

▲中央新聞の大改革

中央新聞は政友會の機關紙として原敬氏監督高橋嘉威氏社長となり改革を行ふに決せり（同上）

▲韓國勅使の着京

韓太子輔育總裁薨去に就き韓國皇帝及太皇帝より差遣されたる高義誠及李恒九の兩勅使は本日午後新橋着直に韓太子御用邸に伺候せり明六日岩倉公爵家を弔問し聖旨を傳ふる筈なり（五日）

▲東拓株の大暴落

東洋拓殖會社重役の無爲無能遺憾なく天下に暴露されたる爲め同會社の株は益々暴落し目下東京株式界に於ける現物取引相場は十六圓五八十錢を唱ふるに至り同株所持者は殆んど投賣の姿なり（同上）

▲韓國在勤者恩給法

鐵道院韓國營理局官吏に對する恩給法及遺族扶助料法今五日公布せらる（同上）

北京電報

▲清宮廷の大變事

二日攝政王醇親王殿下の御用邸内に於て鐵道隧道破壞に用ゆるものらしき數個の爆裂彈を裝置しありしを發見したり曲物は無論革命黨の一派なるべきも或は袁世凱の部下なりとも想像するものあり軍機處は直ちに入方に手を別ちて搜索しつゝあり嚴戒を極むる宮邸は之が爲めに一大恐慌を惹起し非常の混雜を呈し民心恟々たり（五日發電）

▲嫌疑者續々捕縛

北京宮殿に於ける大椿事に關し嫌疑者として捕縛されたるもの續々あるが如きも當局は堅く秘密に付し居るを以て疑心暗鬼を生じ流說紛々底止する處を知らず（同上）

雜報

各地市場の狀況

一時不穩の暗雲に罩られし各道市場も昨今に至り漸く靜謐に復する至りしが各道に於ける各市場の最近情況如左

△京畿道江華府內　市場は一時同商民間に不滿の聲高かりしも財務局郡守協議の上每市出場商民を九十七八となし等級を附し總計廿七圓九十五錢を納入せしめ尙ほ外來商は從前の如く放賣價百分一徵稅に決し無事落着せり

△咸鏡道惠山鎭　市場は管理人に於て他市場になき課稅を當市にのみ强らるゝは不當なりとて抗議せしも說諭の上遂に服するに至れり△同高原邑に於ては二三の徒市場稅納入を冷評する者あり同定平咸興二郡惠山鎭同樣の不平を鳴す者あり△端川邑にては市場稅は人民困憊の根原なり又或者は當時の專擅の蔵匿若しくは中央政府の民力疲憊の策なり云々尙端川郡波鐵面南里生牛市場として由來頗る盛なりしも市稅實施後一時は非常の寂寞を告げたりしも當局者の諭告により舊に復せり

△平南道　方面は米國宣敎師（ベルンハイゼル）三月十日暴動の首動にして目下逃走中の張大奎方に特に二泊し附近敎徒に對し耶蘇敎の最主旨なる博愛の義に就き諄々諭ふる處あり大に地方人士の險悍を緩和したり

△平安北道楊市々場　三月十九日開市したりしが約千三四百人の來集あり騷動後初めての盛況なりし殊に頑强の反抗者たりし文汝彬、白元一の如きも店を開きたり中にも狡猾なる米商共は途中取引脫稅者もありしが結局一圓七十七錢を徵收したり△同宣川邑　市場は日人商より月額八圓淸商より同二圓五十錢徵收すべく異議なく徵稅△寧邊郡各內　市場は一時故障ありしも今や靜肅に開市す尙は平安に接する新興里東倉場も三月廿一日より無事徵稅△龍岩浦　は三月十九日の開市に於て購買者の來市寡かりしは騷動以來數閉鎖したる餘響なり△北鎭古倉市場　商民は雲山財務署に對し買賣平均額査定し請負納稅を申請すると共に一般遵守すべき約束を申出たり

△黃海道　安岳郡西河面椒井市場に於ては二月下旬以來五回の開市に對し納稅を拒み目下警察署に於て說諭中以上他多少の不平の聲あるも槪して安穩△谷山郡　邑上市場穀商十一人は各署に對し半減の申請提起せり財務署は之に對し合議何分の沙汰に待つべしと說き引取らしめたり要するに同邑內に於て市場に於てのみ課稅さるゝ事は不公平なりとの誤見を抱く者多きが如し是れ畢竟するに事理に迂闊なるの致す處にして又た餘義なき運動といふべし

韓國漁業と漁場

韓國に於ける漁業經營の希望を以て漁基の許可を出願し來るもの無慮七千件の多きに達せる事は既報の如くなるが當局某氏の談によれば該出願者の多くは兎角利權獲得のみを目的とする傾向あるは頗る遺憾とする處なり元來是等の人々は一片の願書を提出すれば直ちに權利を取得し得べきが如く心得漁業地の價値又は所得權利者の有無を問はず情實因緣的に運動を試むる輩のみなり斯かる輩は畢竟濡手粟の夢想を描けるに起因するが元來該全沿海の一班に注がんか韓人の所有漁基にして有利のもの尠からざるを發見し得べし則ち一區年收優に千圓內外の價値あるものとも韓人は三百圓乃至五百圓を以て放賣しつゝあり然れば眞に漁業經營の希望を有する人々は新漁區のみに着目せず資本を投じて是等漁基の買收を爲さば有利の基礎に餘くを得て相互の利益甚大なるべし資本を投ぜずして事を企つるの弊ある獨り漁業のみに限らざるが如きも今此事實を見て痛嘆に堪へずと云へり

豪氣堂堂橫大空　日東誰能帝威隆

故樞密院議長從一位大勳位公爵伊藤公之墓

高樓傾盡三杯酒　天下英雄有眼中

春畝公墓前之感（二）

スイロウ生

▲昔はウヲヅウオス長時墓前の感を書いた、悲哉余は時才を缺く、而かも藤公の饗くるを信ず、故に言を禿筆に托す、讀者幸に容せ。

▲閑話休題、低個辭するに忍びずとて墓守となる譯にも不行、因つて踵を回らして名刺を附所に殘る、受附所番人至極質體らしき男、茲より嘘を吐くべき柄にあらず、余番人に問て曰く御墓參人は毎日澤山ありますかと、番人答て曰く國葬當時に在りては高位高官の人々續々來られたれども今は寞し、其代りとても云ふべきか門前通過の旅客殊に遠國の人の來り詣づるもの日々數十を下らずと。

▲余番人に問ふ、而らば朝鮮よりの墓參者はありやと、番人答へて曰ふ朝鮮よりは京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山等の方々絕えず御見えになる、但し是等の方々は皆居留民とやらにて官吏の方々に非ず、亦曰く韓人も偶には見えます、ツイ先達の如きは謝罪使とやら云ふ韓人來つて墓前に茶番を演すと。

▲伊藤公入韓以來韓人本位とやらを振廻して其利權は奪はれ、其財產は危險にせられ、何一トツ難有味に浴せざりし在韓居留民は公の德を慕つて今尙此谷垂に來る、忘恩類なしと常に呪はるゝ韓人さへも偶には來つて墓前を淨む、而るに而るに在韓邦人の役人衆は如何。

▲素より役人は渡世なり、商賣なり、と云ふて仕舞へば夫迄なり、而かも在韓役人の多數は直間接に藤公の恩顧を受けたるの輩なり、此輩にして官費東上を試み、新柳其他に流連荒亡阿呆の限を盡すの餘暇あるとも此谷垂に來らずとはヨボにも劣る淺間しき心根、確に唾棄に値ずなり。

▲嗚呼末世、末世、輕薄の空氣は官府に充滿す、尤も除外はあるなれども槪して官吏の薄情なる娼婦、幇間、其比に非ず、斯る鼠輩の眼中何條國家民人に對する熱情あらん、唾棄に値するは實に彼等にこそ。

▲門を出でゝ暫時掛茶屋に憩ふ、老媼茶を勸む、余一碗を啜り媼を顧みて問ふ、婆さん御參詣人中に婦人があるかねと、媼の曰く公爵樣の御後室末松樣の奧方、若公爵の夫人樣は必ず御命日にはお見えになる、寡樂の婆とやらなんぞは御國葬當時にこそ見えたれ、其後はトント足踏せずと讀めたり高位高官の連中殊に在韓邦人官吏其多數が寡樂式。

▲されど地下の藤公は慍らず、彼等が生前取卷たるは祿の爲よ、今無沙汰なるは多忙なる爲よ、生存競爭劇甚の今日死者を訪づれて何にかなるよ春畝先生野暮は云はず、ソンチヨ其所等の高官達先づ安心して可なるべしか。

▲冒頭思はず長くなりぬ、いでや大號より墓前の感を述べむ。

●救療事業の好結果

昨年全州、淸州、咸興に慈惠醫院を設置せられし以來一般地方人民は非常なる好意を以て之を迎へ治療を請ふもの一日各百五六十名の多きに上る狀況にして醫事以外に民心融和の效果を收めたり各道にては警察署附醫師を督勵し施療又は實費治療を爲さしめ昨年末より木浦及麗水警備所にては所屬警備船に各一名の警察醫を乘込ましめ島嶼及航行沿岸地方に於ける病者の施療を開始せしに到る所深甚なる感謝の意を表し治療を請ふ者引もきらぬ有樣なりと

●乾元節と斷髮强制

平安南道龍岡郡に於ては去る三月二十五日乾元節の際官民六十餘名の祝賀會を開きしに郡守は世運と趨勢を說き苟も先覺者を以て任する面長其の他の有志にして今尙結髮するが如きは世運に協はざるものなり本日の賀辰を卜し斷髮するは好個の紀念なりと即坐に使丁をして面長三名及普通學校長其他の參列者三名の結髮を斷たしめたるに稍々不滿の念ありたるも後悔思の疏通を得て談笑の間に散會したりと云ふ

●馬車會社と新道路

群山港の有志者は全群間十二里の新設路道に馬車鐵道を敷設せんとして既に內部の許可を得たるが該道路は韓國の模範的四大道路として新設せられたる一なれば今該道路に馬車軌道を敷設するが如きは恰も政府が數十萬圓の金を投じて馬車會社の爲めに道路を改修したるが如しとの議政府部內に起りたるも既に許可したる後なれば今更取消すこともならず依りて馬車會社に對しては特に嚴重なる監督をなすべしと云ふ

●高女入學試驗成績

京城高等女學校新學期入學試驗を本月一日より二日間同校講堂に於て施行されしが受驗者は約四百三十餘名にして今其成績を聞くに入學許可者は如左

一學年入學　九十一名
二學年入學　二十五名
三學年入學　十　名

此受驗資格は一學年は尋常卒業のもの二學年は高等小學一年若くは卒業のもの三學年高等小學卒業又は他の各種卒業のものなりしと云ふ

●辯護士役員の改選

統監府令辯護士規則により成立したる京城第一辯護士會は四日午後五時日本人商業會議所に於て通常總會を開き役員選擧を行ひたるが左の諸氏當選就任したりと

會長　大久保雅彥、副會長　中村時章、常議員議長　莊子斌、常議員　岩田仙宗、同上岡田榮、同上大崎熊之丞、同上木尾虎之助

●參與官會議の例會

本日午前十一時三十分より統監府に於て參與官會議例會あり石塚長官を始め小宮、荒井、松井の各參與官菊池局長岡本通信管理局長代理、橫寺司法廳長官代理及中山書記官等列席せり

●管區長會議の開催

目下開會中なる憲兵分隊長會議は來る八日を以て結了する筈にて京城憲兵分隊にては同會議結了後直ちに十二箇管區長を召集して管區長會議を開くべし

●中央農會開城支會

同會にては來る十六、十七の兩日農談會を開き本部よりは宮本技師出張の筈にて附近當業者も參會する由なれば盛會なるべしと云ふ

●韓國武官測圖演習

韓國武官二十餘名は五日より向ふ九日間開城方面に於て測圖演習を行ふ筈にて池陸軍步兵大尉引率の下に今朝南大門發の汽車にて同方面に出發せり

●歸任の公電達せず

曾禰統監歸任期の東電ありしも統監府へは未だ何等通報なし孰れ桂首相名古屋共進會より歸京後なるべしと云へり

●諸官署の會計檢查

古川會計檢查官及び異鋼、柳の兩屬は在韓帝國諸官署會計檢查の爲め本月十一日東京出發渡韓の筈なりと云ふ

●安重根の繪端書

先般發賣を差止られたる兇漢安重根の繪端書は平壤地方に於て差押へたるもの既に三百餘枚に上り同地の學生等は該繪端書の發賣を聞き購求せんとて繪葉書店に到る者多く既に手に入れたるものは之れを保存せんとて寫眞挾を購求する者多しと

●東洋日報の擴張

龍山に於て發行し來りし東洋日報は新調の器械活字到着したるを以て數日前已に社籍を京城に移し南大門驛前に營業中なるが愈來る十二日より紙面を改良し編輯營業共に人員を增聘し大擴張をなす筈なりと

●地方官の缺員數

目下地方官の缺員は慶南の內務部長、忠南、黃海の警察部長の三人なるが岡內部次官は東京に於て人撰し歸任早々任命あるべしと

●農林學校卒業式

水原農林學校に於ては來る九日卒業式を擧行し趙農相及び中村農務局長も臨席する由なり

第二艦隊の入港

沖島島村中將の率ゆる第二艦隊八雲、見島の三隻は來る八日佐世保より仁川に入港同十四日迄碇舶する豫定なるを以て市民歡迎の意を致すべく目下協議中なるが同艦隊は十五日旅順に向け仁川港を解纜する筈なりと云ふ

新會社と大韓組

安藤元愛媛縣知事を創立委員長とせる韓海漁業株式會社は其目的全く韓國經營の上に存じ則ち韓國經營の順序は水より陸に及ぼすの方針に依らざるべからずとの見地より北韓方面に活動すべく安藤委員長も語れるが今同社の漁業基礎を開くに彼の大韓組の權利を買收し更に一大擴張を加ふる筈なり而して安藤氏は創立準備の爲め豫め實地視察を遂げ置くの要あり且つ統監府又は韓政府當路へ一應打合を爲し置かん爲め渡韓せしが統監を始め農商工部次官不在の爲め要領を得ず故に歸京の上其方面に會見決定すべしと云ふ

耕地面積と農民

韓國に於ける田及耕地の面積に付ては古來より一定の制度を有せざることなれば明確なる數は固より知ること能はず斗落計算の如きも地味の良否播種の方法、升量の容積に依り同一ならざるを以て一斗落と稱するも七八十坪より二百坪を超へ一日耕と稱するも七八百坪より二千四五百坪に至るが故に土地調查局の事業完成の曉にあらざれば正確ならずと雖も最近其筋にて調查したるところに依れば國有地田三万六千百十二町畑六萬七千六十六町步計十萬三千百七十九町步民有地田八十一萬六千九百五十三町步畑八十八萬六千百九十八町步計百七十万三千百四十八町步にて農民は韓國人七百五十一萬五百三人日本人二千六百十三人淸國人五百二十四人北米八十八人なりと云ふ

●熊谷賴太郎氏出發

前京城民長にして今回島根縣八束郡長に就任したる熊谷賴太郎氏は夫人同伴五日午前九時南大門發列車にて赴任の途に就けり停車場には俵顧井の兩參與官若林警視總監三浦理事官中山書記官各城民長其の他文武官民新聞記者二百餘名見送り盛んなりき

●東拓會社新築の議

東拓會社新築の件は先般來夫々設計中なるが同時に社宅建築の議もあり經費の都合上宇佐川總裁の歸任を待ち重役會議を了り次第決定すべしと

●若林警視總監巡視

若林警視總監は六日午前九時南大門發列車にて谷川警部を隨へ水原に出張し同地の警務狀況を視察し同日午後七時七分南大門着歸京すべし尙は同氏は近々新義州方面へ出張する筈なりと

●水產調查員の再發

農商工部水產局にては現在出願中に係る免許漁業其他に關し實地調查員を派する事となり調查區域を五區に別ち十日頃出發せしむべしと

●完興君汶山に行く

完興君は五日午前九時十分南大門驛發列車にて京義線汶山に赴かれたり

●武田鑛業所長出發

平壤鑛業所長武田少將は五日出發本任地德山へ歸任せり一二週間後渡韓すと

●岡內部次官歸任期

東上中の岡內部次官は廿日頃歸任すと

●朝鮮新刊

雜誌朝鮮四月號出誌「天を追ふて編輯の整頓せる著し卷頭「天事動きて人事動かず」と慨せるは主筆旭邦氏が例に依て高調なる主張の前を成す曰く「朝鮮合併問題」「朝鮮に於ける耶蘇敎問題」は直言能く人をして長用ひて面かも忌まざらしむ、思潮欄面白く論說欄は林董伯の「日韓合併論」に就て」前の學部參與官幣原文學博士の「韓國に濟民院を起すの議」等を收む研究欄より文藝欄又とりどりに趣味深し發賣所は讀ますで定價一部二十五錢京城本町九同社發行同二丁目日韓書房販賣

●平渡書記官歸任

曩に上京中なりし平渡內部書記官は四日午前九時新橋發歸任の途に就きたる旨通知ありたるを以て一兩日の中に歸着すべしと云ふ

●三宅博士の入京

理學博士三宅驥一氏は四日釜山より入京天眞樓に投宿す

●佐藤成敎氏入京

工學士佐藤成敎氏は四日釜山より入京浦尾旅館に投宿

●宮川武行氏歸任

全北警察部長の宮川氏は入京中の處五日出發歸任したり

龍山通信（五日支局發）

▲經理部長會議に出席の爲め東京に出張中なりし小倉軍司令部經理部長は四日夜歸任▲徵兵事務視察の爲め大邱、釜山に出張したる宇野二等軍醫正十時軍司令部副官は四日夜歸任▲英國陸軍大尉マイン氏韓國觀光の爲め四日釜山より入京シンタク、ホテルに投宿せしが三四日滯在の豫定なりと▲大久保軍司令官令孃四日夜入京▲龍山鐵道官舍內笠井基溫氏は曩に愛孃死去に際し紀念の爲め愛孃が生前在學せし龍山小學校に金五十圓を寄附せし爲め去一月統監より褒賞として木杯一個を附與されしが其木杯に添附せられたる賞狀中には「京城民團基金中に云々」とありたり之れ果して何の兆ぞと云ひたし

▲洽外浪欄▼

今度出來た政友會の後楯に李完用だそうなが、完用君又近頃例の總理邸を賂らつて、民間有志を結合して相救會とか云ふ社交團體を組織するそうだ、而して相救會なるものは表面政治に關係なしと云ふも其實政友會の別働隊として政界に驅馳し他日民間に下りたる際の一勢力に備へんとするのだと云ふ取沙汰がある▲內部次官や平渡府郡課長は久敷き間上京して警部主事の人選を爲て居たが適當の人物少なく僅かに三十餘名內定したに過ぎぬと、夫れも其筈希望者は何れも日本を喰ひ詰めたれ餘りばかりだもの▲そんな事をするより渡韓者の無職に苦んで居る者の中には隨分立派な人物が居る此等を試驗なり或は其他の方法に依つて選拔しては如何▲京城日報の共進會勸業館は日延べをするそうだ折角宜き思付きを餘り日延べ杯してケチを付けぬように爲て貰ひたい、之れは日韓兩國民の利益の爲めに祈つて止まぬ▲近來韓國に相當の地位と信用とを持つて居た人で歸朝する人が多い少し溜め込んだら歸ると云ふ假住居的根性には困つた者である。

名妓洗髪のお妻(一)

繪葉書に化粧品の廣告に其の艶名艶姿を利用せられ日本六十余州の津々浦々は申すに及ばず苟も日本人の住む程の所に其の名を唄はれざるなき東都花柳界の一名物洗髪のお妻の一代記當人の口から語り出す所を……

私の半生の話をしろと仰言るのですか大變ですね、身の懺悔をするには少し早過ぎますわ、明治七年の生れで當年取つて卅七歳の女の盛りは過ぎました婆さんではありますが、懺悔告白にや可愛想よ、さう〳〵何時かお爺さんがね——伊藤の御前様の事ですよ——お妻お前しも余りに名を賣て了つたから今更其稼業から救ひ上げる事も出來ないが、お前も洗髪のお妻とまで人に唄はれた女だ人間は死際が肝腎だから、其儘朽ち果てちや何にもならぬ何うだ洒落れた庵室でも向島は小梅あたりに建てゝ、お前は剪髪姿水晶の珠數でも爪繰つて庭には萩薄四季折々の花でも植ゑて余生を消く送つてはと染々と云はれましたが、御前様もヒヨンな事になつて了まつた今から考へると此先剪髪のたてしたい事もある、私が思ひ切つて話其んな事にもなるなら、お話も洗ひ立をしやうものなら、腋の下から瀧のやうな冷汗を出す人が、さあ、一人二人三人……數へ切れませんね、夫れはさうとして、云ふわ、話すわ、聞いて下さいね▲名告を上げるも烏滸がましいとでも云ひませうかね、私の産地は對州嚴原で父は士族守道と云つた土地の門閥家、朝鮮の代官となつてゐましたさうですが何か政治上のことで父が朝鮮から歸りの途すがら船の中で暗殺された人で御座います、母は父にも増した家柄で、藤氏くにと云ふた人で、元は武藤家であつたのが、從五位陸奥守の時に藤と姓を改めました、系圖を手繰つて見ると、其昔小西行長の手の者で働いたが、事志と違ふといふやうな譯で謀逆人となつて、對州へお客分として預けられたのですが、其後土地に住附いて藤姓を名乘り、陸奥守と云つた人の娘のくにが前云うた私の生みの母なのですよ、其れこそ何時か去る人の仰言つたやうに、私が宗の殿様と肖てゐるのには、夫れ〳〵の因縁があるのです、と大して名聲を上げて後が醫者稼業ちや恥しいわね▲夫で私が六歳の時に下谷二長町の對州のお邸へまゐりまして、邸の内で滿五年間といふものはお嬢さん育ちに育てられ、十一歳の春國元へ歸り、明けて十二歳再び上京致しまして、今英和學校の平岩義安さんの弟さんの小田義雄といふ人と一所に、何んでも其當時北海道の鐵道にゐた小田敬中といふ人の家へ夫婦養子に貰はれましたが、其小田義雄といふのが、當時大學出の文學士、腕の冴えた人で、年は老つてゐるが確か四十幾つでしたが私は十二歳で夫婦養子で貰はれ、十五歳に御婚禮をしましたがからねんねの人形のやうなもの、全く夢我夢中、何が何やら分らぬ御嫁さんでした、程なく義雄とは離縁になる事となりました、夫れが抑も私が今の身の上になる初端、廻れば廻る小車の運命とでも云ひますかね、其間にや煮ても焼いても儺たらぬ憎い〳〵奴があります

不憫なる田舎娘

▽三度身を賣られんとす

一昨四日夜南部署に駈込訴へを爲せる二人の娘あり一人は長崎縣南高來郡北串山村五百六十六番地松尾小一郎二女みや(二)他の一人は同縣同郡小濱村番地不詳中村愛太郎長女ゆき(一九)といふものなるが二人は去年七月中郷里に於て兩親とも相談の上置屋作なる者の下女に雇はれ渡韓せしが此奴が抑も善からざる奴にて下女に使ふなどは眞赤な僞り成歡驛にて末廣といふ飲食店に二人を叩き賣り行衛知れずなりたれば田舍娘の何うする思慮も分別もつかう筈なく遂に强ゐられて賣淫を爲し居る中轉賣され同所でも又云はるゝまゝに賣淫の辛き稼業も身の爲めで無く心から同年九月永登浦の料理店丸天といふに出た錢でも無しに身を餘はれつゝ涙の中に半年餘を過ごせしが此頃に至り又しても丸天の亭主は京城に鞍替へさせんものと二人を伴れて出京し口入屋東洋舍に相談中流石の田舍娘も詠へ兼ね隙を窺て同家を駈出し警察に訴へ出でたる次第なりと然れば警察にても捨て置けずと丸天の亭主を呼出して取調べたるに前記の始末に相違なく親權者の承諾書も無きに女でこそあれ田舍娘でこそあれ兎に角人間二つをがらくた道具か何ぞの樣に賣買ひするのみか賣淫までさせるとは以ての外なりと直ちに轉賣の相談を中止せしめ娘二人は其の保護の下に兎に角安心の胸を撫でつゝ此の際警に就ては涙濺れぬ心を痛め居れりと

●薮野椋十氏の銅像

▽指の股にかく肥前の産

東京朝日新聞記者澁川玄耳としてよりも寧ろ東京見物、上方見物、近くは世界見物の著者として聞えたる法華村の老爺、吉野青踏の伯父さんたる薮野椋十は近來文壇の名物男なり、其の著書に現れたる奇警なる觀察輕妙なる文章は獨特の創意ありて椋十流なる語すら流行するに至りしが茲に北濱株式取引所の仲買人井上德三郎氏が椋十翁の文藻に感じ友人二三と謀りて其の銅像を鑄て贈る事となし其の鑄造を帝室技藝員岡崎雪聲氏に依囑し高さ一尺余の小銅像は此の程目出度く出來上りぬ容貌風采椋十翁に寸分違はぬ頗る皮肉つたものにて像の背面には井上氏の友人土屋大夢氏の選中村不折氏書に係る贊を彫めしと

剣せり是れ又頗る振つたものにて如左

薮野椋十は指の股にかく肥前の國うんせんが嶽の頂邊から噛んで吐き出されたラバのやうな老爺なり故に到る處に重きを爲さずして輕きを爲す其の朝日新聞に在るも亦然り、然るに世には物數奇なる人も有り大阪北濱の檀那井上禿三郎君彼が銅像を鑄て彼に贈らんとし之を矜に謀る矜金が掛るぜと止むれども聽かず岡崎雪聲さんの觸天下無數の灰殼をフーツと吹飛ばして此の像成る乃ち己を得ず其の由來を記して像背に剰し以て不朽に垂る銘曰

東京見物 上方見物 世界見物
朝鮮見物 椋島之風 山高水長

明治四十三年一月吉 臥雲山第一世大夢選

▲庇髪と丸髷▼

▲庇髪千代結 庇髪の流行も近來に至り種々變化し來たりたるが先年ハイカラ向き庇髪專門の新橋の女髪結異島お千代が工夫せる結び方はお千代の曰く梳上げ髪を二筋に分け、二回程ねぢれる毛の左の手へ來たものを輪の如く作り、堅くして其毛を下へ向ほ後ろに餘れる分とを束ね、一と口に云へばクル〳〵捲きなれど、他のタボ、鬢の出し方は好みと各自の手加減なりと▲同裝飾 廿歳以上なれば鼠色、鳩羽、クリーム、白藏は紺の類のリボン調和すべく又た一枚にてタボ及び兩脇に差込む例のポン櫛ありて近來新ダイヤ入りの品漁行すと此庇髪はお千代の工夫せるより假に「千代結び」と稱へしが今は一般に「千代結び」と呼ぶに至れりと▲婦人の丸髷 先づ昨今の所にては先年來流行し來れるものとは大差なきが如し丸髷(高倒なもの、粹なもの)高倒向きは一般に髷の形の一をつめたる中高の耳のなきが行なはれ結上りてグツト根の上れる、所謂一の字に必持丸みを持つたものにて、從つて山形の厚手なり、大きさは若向きの大一番位の所以下大れに準じたるものと知るべし、粹向にては耳のなき心持厚手さし根を引上てタボは餘り長く出さぬ樣になりて、此粹向きの近頃流行せるは髷を鬢の根より一寸計り下の所に斜にさすが多し借て鬢は高倒向も粹向きも等しく中鬢と云へるが多數にて、殆ど一般に行はれ居る者と見て可なるべし

●警察に滯留

去月末の本紙に山口縣生れの江本とみ(二五)といふ淫奔女が下の關の旅人宿福永利平方に嫁きて十年も連れ添ひし今日淫奔の氣が萌して夫の家を逃出し夫れより云々の成行にて情夫の爲めに龍山北海樓に沈められ居たるを本夫よりの捜索願に依りて龍山署にて取押へたる由を記載せしがとみは去月二十六日より龍山署に留め置かれ本夫が引取りに來るを待ち居れるが利平君も聊か考へしと見え一日延に延びて十日餘りとみは警察の御厄介それでも本人至て呑氣なものにて晝間は署員の休憩室の片隅に蟠まり酒雑々々として罷在り警察に下宿しては少々勝手惡るしと云ひた氣に見ゆ

●當世流行勘違ひ

仁川京町吉田下宿屋方長崎縣生れの石工木村久太郎(二)及び宮町三丁目熊川太郎吉(三〇)の兩名は一昨日午後六時頃より寺町二丁目三日月樓にて飲酒し大不樂を踊ひたるが程經て二圓六十五錢の勘定を請求せられ兩人共無一文にて互ひの懐中を當にしての此次第と判明警官の厄介を受けて翌日支拂ふ事にて示談したり

●淫賣婦と民團雇

仁川花町三丁目思君亭の抱酌婦長崎生れの田中みつ(二)と云ふは元民團役所雇なる古江榮太郎と過ぐる日よりお安からざる情交を結ぶに至りしが去る二日兩人手に手を取りて隨鶴寺を極め込み同日午後八時四十分頃永登浦にて今しも汽笛の聲と諸共に釜山に高飛びせんとする處を難なく取押へられ逆戻り

●日韓誤解の解決

昨日午前五時頃仁川仲町一丁目酢行商砂山林之助(三)と云ふが内洞の客主李鼎壽方に至り飯の提供を迫りたるを雇人の金東烈(三〇)と云ふは强盗に來りたるものと誤解し互ひに敗けず劣らず腕力競べの最中警官出張双方を説諭の上和解せしめしと

●仁川の女湯覗き

仁川龍岡町二丁目の湯屋業池永戸佐吉方浴場の裏戸口硝子一枚破損し居る處より一昨夜出齒龜連が盛に女の出銀美を見て涎を垂らして居るを警官に見咎められオイゝコラと一聲蜘蛛の子の如く追ひ散らしたる上右池永に對し應急修繕せしめぬ

●藝妓三吉の逃亡

仁川寺町二丁目二見樓抱藝妓三吉事津村テル(三)は昨日午前五時頃家人の寢息を窺ひ何れともなく遁亡せし旨其筋に訴出づ

●麝香朝顔種子の無料分讓

最大輪にして花に芳香あり夏季衛生上必適と認むる珍花なるも未だ一般へ普及し居らざるを以て備前國行幸村園藝試驗場は是れを一般へ配布すべく希望者は袋代郵便として三錢切手三枚を送れば五寸五分以上咲く賣花朝顔等珍花十余種を何人にも直に送附する由

●取消

貴紙第三六八號及第三六九號の第三面に確坊主の亂行と題し連載の記事は全く事實無根の艶聞にして其姓名を掲載せられたる有夫の婦女等は一方ならざる迷惑を醸し且つ揺寺信徒の信仰上にも關係仕候間何卒全文御取消の旨を貴紙に御掲載被成下度此段御依頼申上候匆々 大藍大定

明治四十三年四月四日

京城新報社御中

●諸國盆踊唱歌評(七)

▽昔流行の唱歌でムる
▽花も實もある優しさ

河内の部

「山家なれども我故郷は
しばのいほりも懷かしや」

頭取「何うぞ宜しい樣に願ひます」李「ホンの事たよのし藤四郎さんや通さんも今ぢや東京日本橋は魚がしの若旦那か芝は田町の生れ抜きの如にハヽヽ、すツぱり返つて御座るがのし何を匿さう甲州は歐澤の……」藤「其樣に大きな聲を出しなさんな」通「眞實でげすアレ田舎者は此れだから困りやすよ」李「アレ未だアンな事を吐しくさる我が喧嘩をしては困ります餘興は措き秀逸と云ふに御異議はありますまい」頭取「『人はけなりや咲く花なれど
我は木かげのしほれぐさ』」

蛟士「けなりやは羨ましとなり關東にては聞かず、我は、はわしはの方が善しかるべし」藤「我はで判るのみならず訂正する程の必要はねわやナア歐澤の若旦那」通「……」李「ウヮツハツハ」

▲平民文庫▼

▲長谷川町兵營の軒下を通行して兵士に撲られる人が一日に二三人は乾度ある相だ立派に人道があるのに特に軒下の地盛りしてある所を通るのは勿論驅けが一齊の注意もなく撲り飛ばすのみか位置を放れて追撃することがある現に四月一日の午後六時過ぎにも四十男を紅葉湯の前迄追ふて行つて撲つた相である其の爲めに其の人は臥て居ると云ふ投書があつたが▲其の投書は少々大袈裟である平手で打つたのだから歩行も叶はぬ樣になる理由はないと斷言する夫れは現に我輩の家人が目撃した所で其の打たれた人はテク〳〵歩行て歸つたのであるもの▲其の輕重は兎に角打つたのは事實だ僕は其の兵士さんには親や兄弟はないのかと思ふより外はない(凰閣子)▲實見生よ小生宅の確實にして繁昌を嫉み仲傷的の言を吐くな確實なること世間の知る處なり(公明生)▲西小門内に住みて女髪結を渡世とする人の亭主は同所居住の金さんだると云ふのに女房を押し附けて金に爲樣と企らんで居る日本人の面汚しだ(近所の人)▲太平町長谷川町邊では永樂亭が一等です僕は左樣思ふ嘘だと思ふなら一遍は試して御覧(酔士)▲三越の賣出しに唐澤君出入口に行立してお客樣に對する店員の應接振りを注意して居るが少々瘦せた樣だ、何故だなんて野暮を云ふない(瞥見子)▲予は先輩諸君に希望する愛國を主義とする青年會を組織し教育及び娯樂機關を設けて以て其矯正に資せられんことを我國家の爲めに希望す(日本人)

今日の運勢

四月六日▲舊二月廿六日▲五黄 先負 辛丑納

△一白 不利損害多し旅行金談徒勞に歸す新事斷念すべし△二黒 婚姻養子及團結に吉諌期せる音信有快事を報するあらん△三碧 間違多し金品授受締約談合等不良創業開店凶△四緑 非運の日とす新事効なし移轉談合依頼出願等妙ならず△五黄 投機的射倖的行爲と酒色に沈溺する勿れ術交際上破れを生ずる勿れ△六白 快欣の日とす不和衝突及家庭内に少煩累起らんとす△七赤 仕官就職入學門依頼委任に妙貸借に面白からず△八白 甘言妄言に罹り易き日とす他は平凡△九紫 面會接見締約に良好整井續山親に凶他は快欣の日とす(本町五丁目三一館判斷)

美術半襟帯締其他紙類各種
京城明治町一丁目 電話一千四百〇九
ゑり徳商店

廣告

營業品目
琴、三味線、尺八
洋琴、鐵琴、横笛
月琴、明笛
三味線張替修繕並に小道具類は特に大勉强
京城本町三丁目(本町五丁目郵便ポスト前)
米川三味線店

電話一一八二番
まちや
金高の多寡に拘はらず十二分の御便利を圖り迅速御相談に應ず質物は町專に取扱御めて安全に一定の場所に保管す
京城明治町
大槻商行質部
流質品と雖も場所の許す限り可成長期間大切に留保し萬遺漏なきを期す

最上醤油

發賣元 京城本町壹丁目 三巴酒店 電話七五三番

仁川港 醸造元 三巴醤油釀造場 電話七壱参番
龍山本町三丁目 發賣元 三巴酒店支店 電話五六四番

弦齋流割烹 歌舞伎辨當
材料の豊富と技術の熟練は割烹界に於ける弊店の特色に有之候
京城南山町二丁目
まは森 (電話一五〇二番)
出前の儀は電話又は一報次第即刻持參可致申候

京城鐘路の喰物は何んたろー!
裁判所前の洋食店鐘路軒の
松茸めし 酒一本 外和洋料理五品付 一人前六十錢
値が安くてうまくてはらこたまるよ皆さん一度たべてごらんなさい
又和洋料理和洋食共辨當の注文するとすぐつで持つてくる極く便利ですよ
電話壹四二九番 客用有ます
◎監獄辨當の差入も引受ます◎

東京火災海上運送保險株式會社
明治廿年七月創立 資本金一千萬圓
京城代辨店 本町四 山口吳服店 電話九番
事務所 京城南大門通二 電話一〇六〇番

諸官衙御用品調達
營業科目
和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋書籍 防腐デシン 穀物食鹽 諸染料類
委託販賣
東京ランバート商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
藤田合名會社
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約
釜山 大韓合資會社食鹽特約
本社 京城明治町二丁目(電話二三〇番)
出張所 東京京橋區南鍋町一丁目十番地 東京電話新橋三六九二

本店開業拾五ヶ年祝
弊堂開業後滿十五年今日の隆盛は全く各位御愛顧の賜ものに外ならずと確信仕候に就き此際祝意を表し平素の御愛顧に酬ひんが爲め且つ層一層販路擴張の目的にて「タバン懷中時計三千個」及び「アンソニヤ」掛置時計三百個を限り四月一日より九月三十日迄本社の命に依り何方樣へも御直段にて販賣することゝ相成候從つて各位の御便利を計り左記特約店を設置致候間最寄りの店にて續々御購求の程願上度此段廣告候也 敬白
瑞西タバン懷中時計會社韓國代理店
米國ウオルサム時計韓國特約販賣店
米國アンソニヤ掛時計韓國特約販賣店
仁川本町三丁目(電話七〇五番)
時計御商 喜多金光堂本店 京城本町二丁目(電話一〇二五番)
時計御小賣 喜多金光堂支店 京城本町一丁目憲兵分遣所前(電話一三一八番)
右特約店 金化堂時計舖
右特約店 中村時計店 京城本町四丁目角
各地方より御注文は發送費實費申受候

きゝめのある温泉湯
此の温泉は左の如き病に最も妙なり
一かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひぜん、梅毒、りんよこね、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、せん膓胃加答兒、凍傷、がんがさ、其他内用には鐵冷温泉を用すれば尤も効能あり
京城本町一丁目郵便局前
貸席 鐵冷温泉
電話千四百十一番

値上廣告
韓語大成 一部一圓八十錢
從來一部一圓五十錢の處今回紙數百余頁を加へ改正增補致候間前記の通り値上候也
京城本町五丁目
釘本藤次郎本店
長電話四五番
振替貯金口座韓國二五六番

特約販賣
大上商店
味噌醤油製造元 漬物問屋
京城本町五丁目
(電話二五一番)
白制 和洋酒、酢、ビール、米糀、鰹節、塩辛、罐詰、乾物、荒物、日本食料品各種特約販賣 御注文に依り商品切手調進仕候

京城南山町(元日本人倶樂部跡)
京城ホテル
長電話一二三番
電話四九二番

東京足袋
正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升
本店 東京
京城大和町一丁目(日の出橋際)
大和屋 藤井出張店
電話二百〇五番
明治町勸商場内ニモ出張店アリ

開業御披露
今般左記の處に開業致し粹樣方の御來車を待申候
京城本町八丁目横入初音町
待合貸席 松廼家
電話千三百九番

時節柄敷物及夜具等新調仕り室内の設備も相整申候御客樣に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉强可仕候間倍舊の御引立奉願候
京城南山町四丁目
原金旅館
(電話一一一五番)

京城明治町二丁目(佛國教會前)
辯護士 特許辯理士 岩田仙宗
電話三五四番

京城相生町(南門濁横)
神戸資生分院
京城梅毒病院
◎花柳病專門 並 痔(注射療法)
●入院隨意●
院長 醫學得業士 瀧田□平
(電話一二九四)

資本金 一千萬圓
積立金 五百四十萬圓
株式會社第一銀行京城支店
電話一一番 六二一番
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
本店 東京市日本橋區兜町
支店及出張所 大阪、京都、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、新大阪町(東京)、兵庫、伏見、西區(大阪)、釜山、其他日本韓國各地並に海外樞要の場所に爲替取引先有之候

紙と印刷
諸紙 和洋帳簿 印刷 各種製本
諸官衙御用
播本(ハリモト)商店
京城本町六丁目
電話百拾番

諸荒物世帶道具一切
其他和洋蠟燭 アサヒビール サツポロビール 精白米
右大勉强仕候に付陸續御用命仰付られ度伏奉願上候
京城本町六丁目
日用雜貨卸問屋
西崎嘉七本店
(電話二一〇番 電略(ニカ))
振替貯金口座韓七番

蒸氣消毒
牛乳
京城大和町三丁目
平山牧場
電話

韓國銀行
電話(長)一、三三一 本店用
電話 一、二六〇 當直用
(長)一、二六一 用度係用
一、三三一 來客用
一、六一二 臨時建築部用
支店出張所 仁川、平壤、元山、大邱、鎭南浦、群山、木浦、馬山、咸興、城津、鏡城、安東縣
爲替取引先 東京、大阪、横濱、神戸、京都、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、東京新大阪町、大阪西區、松山(以上日本)、釜山、公州、光州、晋州、開城、海州、沙利院、博川、寧邊、義州(以上韓國)、大連、(淸國)
當銀行は韓國中央金庫並に日本金庫事務の外普通銀行業務に屬する預金貸金爲替等精々確實親切に取扱申候

廣告
民事、刑事、其他總ての訴訟事件の鑑定
貸金證券、賣掛代金、約束手形、爲替手形、其他總ての債權は事件の大小に不拘現金買入
負債、貸金、銀行、會社の整理引受及相談等は懇切依賴に應ず
貸金請求、家賃取立、小作取立、其他總ての民事、刑事訴訟事件
右は迅速確實に依賴者の滿足を旨とし事務を取扱ふを以て事件の大小に不拘御來談を乞ふ
京城旭町二丁目百四十五番戶
堤重四郞法律事務所

特定御用 牛乳 荒井牧場 電話五六番

●●●滋養と牛乳●●●
純良 牛乳
京城東四軒町
岡野牧場
電話壹〇六九番
●●●衛生と消毒●●●
馬車配達

資本金 參百萬圓
積立及繰越金 九拾五萬圓
京城南大門通
株式會社十八銀行京城支店
(電話四二〇)
銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
本店 長崎市築町
支店出張所 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山、大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐
其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候 (利息日歩壹錢二厘)
長崎貯蓄銀行代理店 (十八銀行京城支店)

★株式會社百三十銀行韓國總支店
京城本町二丁目十五番地
電話五十八番
資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿内 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野、住吉、茨木、下市
東海道 東京、横濱、大磯、甲府、靜岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪
東山道 彦根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、土崎、高崎
北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、大聖寺、富山、伏木、新潟
山陰道 大宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田
山陽道 龍野、姫路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、福山、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、徳山、小郡、長府、網干、牛窓、味野、岩見、岡山
南海道 串本、尾鷲、州本、御坊、田邊、新宮、和歌山、撫養、徳島、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱
西海道 直方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲
北海道 函館、小樽、札幌
臺灣 臺北、臺南
淸韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晋州、公州、馬山
銀行一般の業務精々便利取扱可申候